

<全体分析>

試験時間

120分

解答形式

記述式とマーク式の併用。

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

出題の特徴

読解総合、聞き取り、英作文、文法・語法、英文解釈の各分野から出題されている。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

- ・ 1 (B)の記述問題として語句整序問題が出題された。
- ・ 3 (A)(B)は内容的に関連している設問が出題された。2020年度は、3 (A)が2人の話者によるインタビュー、3 (B)は3 (A)に登場する2人にもう1人が加わり3人が会話するという出題形式であった。

英語

東京大学 (前期) 2/3

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1(A)	読解総合	「高齢者にやさしい町づくりの理念と現実」 (383 words)	英文の内容を 70～80 字で要約する問題。本文の内容・展開は比較的把握しやすいが、論点を取捨選択し制限字数以内で答案をまとめるのにやや苦勞する。 《出典》 “Communities for All Ages: Reinforcing and Reimagining the Social Compact”, by Corita Brown and Nancy Henkin, <i>The Global Age-Friendly Community Movement: A Critical Appraisal</i> (Philip B. Stafford, et al. (2018))	標準
1(B)	読解総合	「生態系内の人間の存在が生物進化に果たす役割」 (934 words (本文 864 words + 空所 8 words + 選択肢 62 words))	2019 年度から空所が 1 つ減り、5 箇所の文補充問題となった。ダミー選択肢は 2 つ。指示語などの手掛かりが明確で、迷う箇所は少ない。新たに 8 語からなる語句整序問題が出題された。 《出典》 <i>Darwin Comes to Town</i> (2018) by Menno Schilthuisen	標準
2(A)	英作文	意見論述 (60～80 words)	「私たちは言葉を操っているのか。それとも、言葉に操られているのか」に関して意見を書くことが求められた。書くべき内容がやや思いつきづらい。	やや難
2(B)	英作文	和文英訳	鶴見俊輔『アメリカ哲学』からの引用を英訳することが求められた。一部、内容を汲んで表現を工夫しないといけない箇所があった。	やや難
3(A)	聞き取り	「2種類の子育ての手法についてのインタビュー」 (565 words)	選択肢は昨年度よりも長めであり、「あてはまらない」ものを選ぶ設問が 2 題出題された。	標準
3(B)	聞き取り	「(A)についての会話」 (572 words)	内容は 3(A)に関連している。話者は 3 名。司会者以外の 2 名のお互いに対する意見を聞き取ることが求められる問題が出題された。	標準
3(C)	聞き取り	「新たな作物栽培の手法に関する講義」 (506 words)	(17)(18)(19)は選択肢が 1～2 語と短かった。「あてはまらない」ものを選ぶ問題が 2 題出題された。	標準

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
4(A)	文法・語法	正誤問題 「ファンタジーにおいて木々や森林が果たす役割」 (518 words)	2019 年度に続き、正誤問題が出題された。やや判定が難しいものも含まれている。 《出典》 “Into the Wild Woods: On the Significance of Trees and Forests in Fantasy Fiction”, by Weronika Łaszkiwicz, <i>Mythlore</i> , vol 36, No.1 (2017)	標準
4(B)	英文解釈	下線部和訳 「時の経過で人は変わる」 (307 words)	(イ)では that same pool が何を指しているかを明らかにすることが求められているが、どこまで書けばよいか悩ましい。 《出典》 <i>How to Disappear: Notes on Invisibility in a Time of Transparency</i> (2019) by Akiko Busch	標準
5	読解総合	「巣立つ娘を見送る父」 (889 words)	2019 年度に続き、記述式の説明問題が2問、語句整序（8語）問題が1問出題された。(C)の「この場面に即して」下線部の内容を説明する問題は難しい。 《出典》 “Suburbia!”, by Amy Silverberg, <i>The Southern Review</i> , vol. 53, no. 2 (2017)	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・東大は、設問形式に毎年のように変化があり、2020年度と同形式の設問が2021年度も出るとは限らない。よって、過去の多様な形式を踏まえて、さまざまな設問に取り組み、形式の変化に対応できるようにしておく必要がある。東大英語の攻略には全般的に以下のような対策をとっておかなければならない。
- ・読解に関しては、設問形式にある程度の変動はあるものの、「文脈把握力」を主に要求している点では、根本的な部分に変わりはない。要求された課題を念頭に置いて、一定以上のスピードで英文を読み解き、必要な情報をまとめる練習が有効である。また、日本語表現能力を高めることも怠ってはならない。
- ・作文に関しては、基本的な知識の正確な運用が求められている点は変わらない。今後も形式やレベルの変動があることは予想されるので、多様な形式で練習を積み、添削指導を受ける必要がある。
- ・リスニングに関しては、過去問を中心に、基本的な聞き取り能力を養い、情報を整理しながら話の展開をつかむように心がけるべきである。また、リスニング力の向上につながるため、書き取りの練習も積んでおくとよいだろう。